

公共交通サービス水準に係るアンケート調査(案)

目的

路線バスの見直しや新たな交通手段を導入するにあたり、具体的にどのような内容で運行すればよいか、ニーズを把握したうえで運行サービス水準の検討に基礎資料として活用する。

調査対象

市内の自治会の会長約400名を対象とする。

調査方法

郵送配布・郵送回収とする。

調査時期

12月頃配布予定

調査事項

回答者の属性と外出状況の他、路線バス、新たな交通モード別で以下を問う。

- ・利用しようと思える公共交通の運行間隔
- ・利用したい移動目的と時間帯(往復別)
- ・乗車するまでに待つことを許容できる時間(自宅、停留所(ベンチなし)、停留所(ベンチあり)、病院・店舗別)
- ・自宅から停留所までの現在の距離・所要時間と、許容できる距離・所要時間
- ・公共交通で行きたい施設
- ・乗車後に許容できる迂回時間(新たな交通モードのみ)
- ・1回当たりの利用料金
- ・その他、利用する際の必要条件(自由記述)
- ・必要条件が満たされた場合の想定される利用頻度